

第4回札幌市市民活動サポートセンター事業運営協議会概要

日時：平成19年6月6日(水)

19:00～21:00

場所：札幌エルプラザ 会議室1・2(2階)

議事の内容

(1) 平成18年度事業報告

平成19年1,2月に実施した各種講座の実施状況について資料を用いて、受講者の感想などを含め報告した。

(2) 平成18年度運営状況

平成18年4月から平成19年3月までの施設利用状況、活動支援施設など相互利用状況、印刷機等支援機器利用状況、団体登録状況、市民活動相談状況などの報告をした。

(3) 平成19年度事業計画

札幌エルプラザ公共4施設事業計画のもと、平成19年度の実業計画について報告をした。

<意見の要旨>

- ・事業実施状況などを市民活動サポートセンターのホームページに掲載することにより、PRになるのではないかと。
- ・冬季間は、季節柄活動がやや減少する傾向を考えると、市民活動サポートセンターが活動を支援するような内容を実施すると利用者増につながるのではないかと。

(4) 検討議題 事務ブース使用団体支援の具体的アイデア

事務ブースについて現在の使用団体だけでなく、市民活動活性化のため事務ブースがどのような形で運営されるのが望ましいのかを検討議題とした。

<意見の要旨>

- ・募集する際の広報や時期が課題ではないだろうか。
- ・使用を希望する団体がどのような団体かを知ることができれば、的を絞った広報ができると思う。
- ・使用していることがステータスであるという感覚があるため、周知することで使用したい人はいると思う。
- ・具体的に使用しやすい施設であることをPRしていくことが大切。
- ・活動報告書は団体の自己申告性であり正確な事務ブース利用状況を分析することは難しい。書式を変更してはどうか。
- ・募集する際の募集要項がわかりにくい。もっとわかりやすい内容にした方がよい。
- ・事務ブースが、もっと明るく親しみを持てる雰囲気にした方がよいのではないかと。
- ・日常活動をスキルアップできるというPRができれば、人は注目する。
- ・使用団体の団体情報を積極的にPRすることで、他の利用者が事務ブースに着目するのではないかと。
- ・借りたいと思っている人は、自宅を事務所とすることが難しくなってきた人が多いと感じる。一般の事務所を探すための情報誌などに掲載するとよいのではないかと。
- ・使用していた団体が3年後にブースを出る際の次のステップを示してあげることも必要ではないかと。また、事務ブース使用後の団体情報を紹介することで、つながりが広がっていくのではないかと。
- ・利用団体が広告塔になったり、ブースを出た団体のその後の活躍ぶりをPRすることも重要ではないだろうか。
- ・募集をするときは、市民活動と連携しているフリーペーパーなどに掲載することにより目につきやすいのではないかと。
- ・使用にあたり、交流会や事業への参加・協力などを条件としてはどうか。